



タマネギを切ると、なぜなみだが出てくるの

なみだが出るのはネギ油のせい

タマネギの中には、水分やたんぱく質などの栄養のほかに、目に入ると、目をちくちくさせるネギ油というしるが、ほんの少し入っています。

タマネギを切ると、そのネギ油がガスのように目に入り、目が痛くなります。そうすると、そのガスを洗い流すため、たくさんのなみだが出てくるのです。

なみだはいつも出ています

泣いたり、目にゴミが入ったりしたときだけでなく、なみだはいつも、少しずつ出ています。

なみだをつくったり出したりするところは、涙腺といって、両目の上の外側にあり、小指の頭くらいの大きさです。

なみだはいつも少しずつ出ていて、目がかわくのふせいだり、角膜という、目のいちばん外がわにあるまくに、栄養分をあたえたり、目に入った、ごみやほこりを洗い流したりしています。

わたしたちは、知らないあいだにまばたきをしています。これも、目をいつもなみだでぬらしておくために、自然にしていることなのです。（監修・保志 宏）

